

図られた。

木質バイオマス利活用の取り組みでは、市内や県内で発生した果樹剪定枝等のチップ化燃料で発電を行い、市庁舎、小中学校などの公共施設で電力を活用している。

東根市では、学校給食センターについて研修を行った。

市内の小学校9校、中学校5校へ約4500食を供給している。

特徴として、給食エリアは、ドライシステムの採用やワンウェイ動線の確立及び省エネ対策のため、給食監視システムを導入した安全・安心を前面に押し出した近代設備を備え運営している。

本市が計画している規模と同程度であり参考になる部分が多く、今後特別委員会で協議したい。

宮城県図書館では、日本を代表する著名な建築家である京都の原広司氏設計で、随所に斬新なアイデアを取り入れた日本



東根市学校給食センターでの研修

有数の図書館である。

今後の図書館の在り方については、学校との連携や次世代の若者が利用しやすい、新しいネット社会の中でメディア導入等の助言があった。

今回の視察内容を今後の本市計画、建設に少しでも活かしたい。

## 産業建設委員会

10月18日、20日にかけて山形県上市市、秋田県大館市の視察研修を行った。

上市市では、有害鳥獣対策及び市民農園を視察した。

周囲が山岳に囲まれた自然豊かな上市市では、野生動物による農産物被害が多く発生していた。特に、ニホンザルの駆除においては、山形・宮城・福島との3県で18の市町、6つの農協、2つの農業共済組合の26団体での協力体制が整っていた。

本市とは駆除する鳥獣の種類は違うものの、駆除に当たっての協力体制は今後の参考にしたい。

次に市民農園では、廃校に伴う跡地利用を実施し、農地を持たない市民が野菜や花きなどを栽培し、大変好評だった。

反面、農家では後継者不足や担い手の高齢化などにより、休耕地の増加が懸念されている。

大館市では、バイオマスタウン構想について視察した。

環境事業として、家電リサイクル事業、土壌浄



大館市のペレット製造工場

化事業、コンポスト事業、ペットボトルリサイクル事業、木質ペレット製造事業、廃食用油回収事業等を展開している。

今後、環境先端都市の実現に向け、特に木質バイオマスのエネルギー化に力を入れていた。

地球温暖化防止、そして今回の原子力事故に伴うエネルギー問題に鑑み、さらに研究を重ね、本市での有効活用提案していきたい。

## 編集後記

昨年は、未曾有の災害に見舞われました。本市としても、これを教訓としていかなければならないと思っています。

議会改革の一環として今年度から取り組んでいる、議員と地区住民の方との意見交換会で感じたことですが、「議会だより」もどれだけの方に読まれているのか疑問を持ちました。しかし、これも我々委員が努力を積み重ねることににより、関心が高まることを期待しております。

今後におきましても研鑽を積んで、いかにしたら読んでいただけるかということについても、努力していきたいです。

文責 岡田博助

### 議会広報調査特別委員会

委員長	日野 猛
委員長	門田 裕一
委員	北橋 豊一
委員	高井 洋一
委員	正岡 千博
委員	武智 邦典
委員	岡田 博助